

参考説明資料

幾春別川総合開発事業

令和元年度
北海道開発局

1. 事業の概要

幾春別川総合開発事業は、石狩川水系の幾春別川に昭和32年に建設された桂沢ダムをかさ上げする「新桂沢ダム」と、幾春別川支流の奔別川に新設する「三笠ぽんべつダム」から構成され、洪水調節、流水の正常な機能の維持、水道用水の供給、工業用水の供給、発電を目的としています。

○目的 洪水調節(石狩川、幾春別川の洪水防御)

流水の正常な機能の維持

水道用水の供給(桂沢水道企業団:最大0.1m³/s)

工業用水の供給(北海道:最大0.149m³/s)

発電(電源開発株式会社:最大16,800kW)

○諸元 新桂沢ダム:重力式コンクリートダム

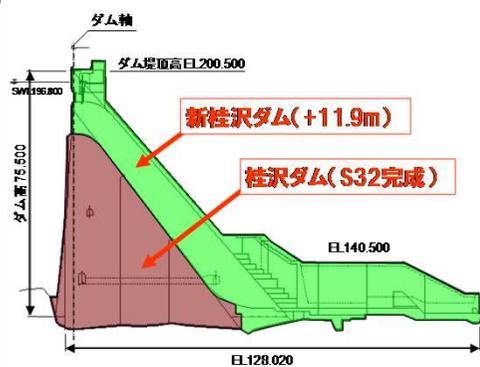
高さ75.5m, 堤頂長397.0m, 総貯水容量1億4,730万m³

三笠ぽんべつダム:台形CSGダム

高さ53.0m, 堤頂長160.0m, 総貯水容量 862万m³

○工期 昭和60年度～令和5年度

○事業費 約1,150億円



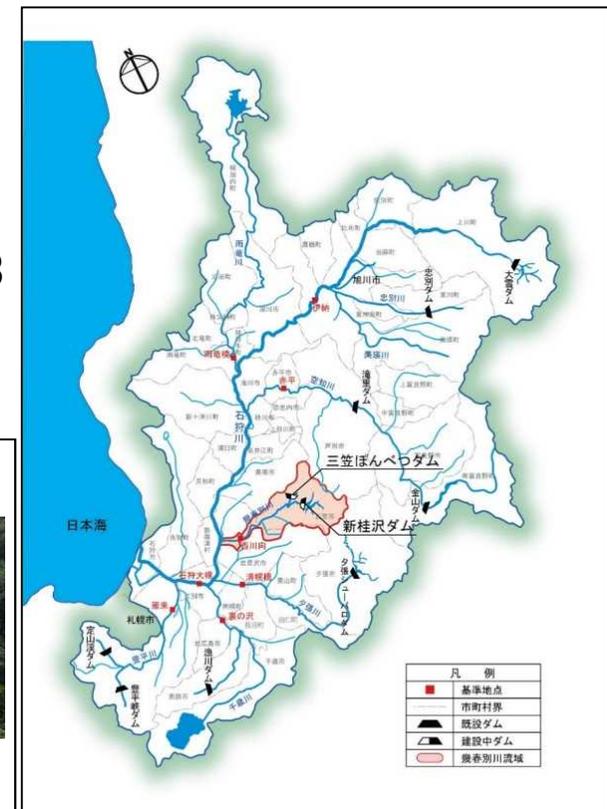
新桂沢ダムのかさ上げ(イメージ図)



新桂沢ダム

三笠ぽんべつダム

ダム完成予想図



石狩川流域図

2. 事業の経緯

昭和32年度	・桂沢ダム完成
昭和56年度	・石狩川氾濫(台風12号により観測史上最大規模の大洪水)
昭和60年度	・実施計画調査着手(S60.4)
平成2年度	・建設事業着手(H2.6)
平成5年度	・環境影響評価書公示
平成6年度	・幾春別川総合開発事業基本計画策定(H6.8)、三笠ぽんべつダム工事用道路着手
平成11年度	・幾春別川総合開発事業事業再評価
平成13年度	・三笠ぽんべつダム仮排水路トンネル、付替道路着手
	・新桂沢ダム取水放流設備工事着手
平成16年度	・石狩川水系河川整備基本方針策定(H16.6)
	・幾春別川総合開発事業事業再評価
平成17年度	・石狩川水系幾春別川河川整備計画策定(H18.3)
	・幾春別川総合開発事業事業再評価
平成20年度	・幾春別川総合開発事業基本計画変更(第1回)(H20.11)
平成21年度	・検証の対象とするダム事業に選定(H21.12)
平成22年度	・幾春別川総合開発事業事業再評価
平成24年度	・「ダム事業の検証に係る検討に関する再評価実施要領細目」による事業再評価(H24.12)
	・ダム検証に係る国土交通省の対応方針の決定(継続)(H25.1)
平成26年度	・幾春別川総合開発事業基本計画変更(第2回)(H26.5)
	・幾春別川総合開発事業事業再評価
平成27年度	・新桂沢ダム基礎掘削着手(H27.8)
平成29年度	・幾春別川総合開発事業事業再評価
平成30年度	・幾春別川総合開発事業事業再評価
	・幾春別川総合開発事業基本計画変更(第3回)(H30.12)

3. 現在の事業の状況

- 幾春別川総合開発事業は、平成30年10月に事業審議委員会の審議を経て、平成30年12月に事業再評価の対応方針を継続するとともに、特定多目的ダム法に基づく基本計画を変更し、新桂沢ダムの本体工事等を進めてきたところです。
- このような中、基本計画変更の協議を開始した平成30年4月以降、北海道胆振東部地震等の自然現象、物価上昇等、現基本計画上で計上されていない不可避事象が生じているため、現在、工期の精査を進めるとともに、あらゆる角度から更なるコスト縮減の検討を行っているところです。
- そのため、幾春別川総合開発事業全体として、より効果的・効率的な予算執行を図る観点から、三笠ぽんべつダムに係る工事は一旦保留し、本体工事が佳境に入っている新桂沢ダムの工事を促進し、早期完成を図ることとしています。
- 今後、工期の精査を進めるとともにコスト縮減の検討を行い、有識者の意見を聴きつつ関係者とも調整を行い、その結果について、あらためて事業審議委員会に報告し、ご意見をいただく予定です。